

第5次原村総合計画後期基本計画の進行管理について（案）

1. 進行管理の目的

第5次原村総合計画の実効性を担保するため、P D C Aサイクルの考え方に基づいて進行管理を実施します。

Plan[計画]—Do[実行]—Check[評価]—Action[改善]のサイクルを構築し、Check—Actionの機能を取り入れた進行管理を行います。



2. 進行管理の対象

第5次原村総合計画後期基本計画の「具体的な施策」及び「達成指標」とします。これら施策の取り組み状況及び指標の進捗状況について、毎年度確認していきます。

3. 検証の流れ

(1) 進行管理検証シートの作成 5～6月頃

- 各担当課において、基本計画の施策ごとに「4年後のめざす姿」、「具体的な施策」や「達成指標」の進捗等を自己分析のうえ評価する。
- 府内連絡会議等で、各課の評価内容について審議を行う。

(2) 原村総合計画審議会での検証 7～8月頃

- 各担当課が作成し、府内評価した進行管理検証シートをもとに、評価と今後の取組の方向性について担当課も審議会へ出席し、審議会委員よりヒアリングを受ける。
- 原村総合計画審議会から出された改善点や見直し等の意見があった場合は、府内連絡会議等で、再度審議のうえ最終評価を行う。

(3) 進行管理の検証結果の公表及び実施計画・新年度予算の作成 9～10月頃

- 検証結果を住民に公表する。
- 原村総合計画審議会にて審議した後の最終評価をもって、次年度に向け実施計画や予算の作成などを行っていく。